



議会に問われる 市民との協働

▽そえの議案外質問から△

総合政策常任委員会

2012年6月・9月・12月

議案外質問：議員の責務は行政に対して問題提起や課題をたらし、政策提案をおこなうことにあります。さいたま市議会では、所属する常任委員会でも一般質問と同じように質問することができます。議会改革の一つとして実現しています。大多数の議員が議案外質問をおこなっています。そえのも毎回、議案外質問をしています。

▽2012年6月議会△

非常勤、臨時職員の

位置づけを明確に

〈質問〉 非常勤職員、臨時職員などの非正規の職員の採用・雇

用状況を一元的に管理することが必要ではないかと、以前も質問をしたが、現況はどうか？

臨時職員の状況が「平成22年度人事行政の運用等の状況」で参考として数字が出ている（そえのが平成22年9月一般質問で取り上げたのを受けて公表）が、非常勤職員も含め、公表していただきたい。

〈MR.さくら〉

臨時、非常勤で6〜7千人の非正規職員が働いています。常勤約9千人と合わせて、市民のために力を発揮してもらうためにも人事政策として明確にすべきです。

さいたま市を紹介する

グッズを増やして

〈質問〉 さいたま市を紹介する土産品のグッズは観光案内所で



▲20120619 市民生活委審議答弁〇〇〇〇

があげられている、人政策における職員の力の発揮を市民にアピールするためにどのようにしていくのか？

職員のモチベーションを高めるために

高めるために

〈質問〉 「さいたま市人材開発・組織開発方針（平成15年〜平成25年3月）に代わる、新たな人材育成基本方針が策定されるようだが、どのような内容が考えられているのか？また、職員の研修における課題は何か？

〈MR.さくら〉

さいたま市の職員としての誇りと高い自覚をもって仕事に取り組める職場風土を作ってほしい、という趣旨で質問しました。南部都市公園管理事務所の施設修繕をめぐる不適正処理や、情報公開開示の偽造文書などが明らかとなり、今後市民の信頼を得るためには危機意識をもって全庁的問題として対応すべきであるとの認識で聞きました。

職員的能力を生かすために

人事評価制度を活用した人事配置と給与処遇の推進、多面評価

制度の導入、複線型人事の導入

の醸成が欠かせないと改めて思いました。

▽2012年12月議会△

出前講座の活用を

〈質問〉 出前講座は、平成23年11月から始まっており、広報の

一環としておこなわれているが、市民ニーズを把握する広聴機能としても、活用をおこなってはどうか？

ふるさと応援寄付の拡充を

〈質問〉 市のHPに分野別寄付、基金別寄付、一般寄付の3種類の寄付の状況が載っているが、継続的な寄付や寄付者の拡大に向けた工夫はどのように行なっているのか？

〈MR.さくら〉

出前講座もふるさと応援寄付も、取り組みを始めてからそれほど年月がたつていません。市民と行政との協働の視点があつてこそ、取り組みの成果が出てくる事業です。市民に胸襟を開いて行政の仕事を行なうことでコンプライアンス（法令遵守）も生きてくると思っています。

変わる街 住み良い街へ

●さいたま新都心 西側の街が変わります●

東京タワーに代わるさいたまタワー構想があった所です。墨田区の（スカイツリー）タワー誘致に敗れたので、新たな土地利用の計画が埼玉県とさいたま市で協議されています。県議会、市議会、8-1A街区近隣の大宮区、中央区、浦和区の住民にも計画案の説明が行なわれています。（平成27年度竣工）

〈建物計画案〉

■さいたま赤十字病院（1万4千㎡の敷地）

病床数632床・地下1階・地上14階

■県立小児医療センター（1万㎡の敷地）

病床数316床、地下1階・地上13階

■小児医療センターに付加する機能として

▽屋上にヘリポート 高度救命救急センター

ハイリスク妊産婦受け入れ

▽県では、特別支援学校、発達障害児支援、救急救命士養成

・災害時被災者支援、医師・看護師支援、県立大サテ

ライトキャンパスの機能を計画

▽市では、保育機能、子育て支援機能を計画

●新都心東口の三菱マテリアル敷地に造幣局（敷地約2ha）

と大宮警察署（敷地1.1ha）が移転されます。

●浦和駅が高架化されます●

平成24年度内に高架化事業が終了、それに伴い湘南新宿ライン停車が開始されます。東西連絡自由通路が25mに拡幅されます。高架下の開発では、平成25年度から施工開始、26年度には6階建ての駅ビル「アトレ」が開業予定とのことです。住民からの長年の要望であった、駅北口の改札も検討され、西口と中ノ島地下道の接続も駅ビル整備と一体で工事が計画されています。

浦和駅周辺鉄道高架化事業でかかった費用は総額355億6千万円（そのうち市費は210億6800万円、国費は132億9200万円、JR負担は12億円）。

高架化とセットとなる田島大牧線整備事業は平成26年度に完成予定ですが、総額27億9千万円（そのうち市費は18億2394万円、国費は9億6605万円）となっています。

●県庁通りも整備が進みます●

浦和駅が変わり、利便性も増すと同時に浦和駅周辺の街づくりも商店街の活性化や、街並みの整備も課題となっています。

県庁通りでは歩道がバリアフリー化され、自転車レーンも整備され、埼玉会館前のポケットパーク化も計画されています。平成24年度末〜25年度上半期にかけて整備されるとのことで、より快適な街へと変わることが期待されます。

地域の現場から

本崎小学校前の産業道路
歩道橋が撤去され、
信号機が設置されました。

2012年6月に信号機が設置されました。地元の皆さんの要望が通りました。2009年11月に要望書を出してから3年たちました。



▲歩道橋のあった所に横断歩道と信号機が設置



新しい年が明け、いつものことながら今年こそは良い年となるように願います。昨日から今日が生まれ、明日は今日から続いていきます。今年ももっと「情報」情報社会が進行していくのでしよう。情報格差も広がるかも知れませんが、でも、いろいろな人たちがいてこそ社会で、少なくとも理不尽いやられたりして生活困難に直面せざるを得ない状況を作っているのではないのだと思います。▼いつの世の中でも人を大事にすることは生きていくことの基礎です。本来の政治は、そのためにあるのだと思います。今年も人と人とのつながりを基本にして事に当たっていき

編集：文責 添野ふみ子
1991年〜1999年
浦和市議2期
2003年〜現在
さいたま市議3期(通算5期目)
改革フォーラムさいたま市議
団副代表／総合政策常任委員
会／議会運営委員会（理事）
／議会改革推進特別委員会／
事務処理等適正化調査特別委
員会（理事）